

生活だより

寒河江市立南部小学校
生徒指導部
H22. 6. 14

大切な命が

先週の木曜日に、低学年の子が、堰に落ちて流されそうになってしまいました。幸い、大人の方が通りかかって助けてくださったので、大きな事故にならずにすみました。もし、その方が見つけてくださらなかったら、そして堰の水量がもっと多く流れが速かったらと思うとぞっとします。まわりに柵と「絶対入ってはいけません」の看板があったのですが、友だちの家に早くいきたくて、近道をしようと柵を乗り越えて、堰を跳び越えようとしたところ、落ちてしまったということでした。近くの方に聞くと、堰を跳び越えて行く子が、日頃から見られ、注意してくださっていたということです。そこで、全校集会を開き、過去の悲しい事故のことにも触れながら、次の4点について指導しました。

1つしかない命を守るために

- 1 柵さくの中には、絶対ぜったいはい入らない。
- 2 地域ちいきの方の注意かた ちゅういを素直すなおにきく。
- 3 危険きけんなことが起きたら、大人お おとなの人をよぶ。
- 4 川せきや堰ながにズックやボールなどを流されてしまったら、
あきらめる。

これからも、子どもたちの柵越え・堰越えの実態を把握し、繰り返し指導していきます。

保護者のみなさんにお願ひがあります。危険な行動・自転車乗りなどを見かけましたら、どうぞ注意してください。そして、注意しても聞かないようなら、学校に連絡をください。大切な命を守るために、よろしくお願ひします。

**危険な行為を見かけたら、注意・連絡を！
よろしくお願ひします**